

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 6 年 5 月 10 日

学校名 福井市至民中学校

校長氏名 秦 計代

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 資源の有限性について学習し、ものを大切にする心・エコロジー意識を養います。
- ② 校内の花壇やプランターに植物を植え、緑化に努めます。
- ③ 地域と連携し、清掃美化活動や保全活動に努めます。

2 取組内容

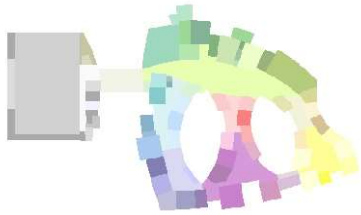
- ① ものを大切にする心・エコロジー意識の育成
 - ・全教科を通して、資源の有限性についての学習を行い、ものを大切にする心を身につけます。
 - ・学校全体で、ごみの分別を徹底させ、減量化に努めます。
 - ・環境委員が中心となってエコ啓発活動を行い、学校全体のエコロジー意識を高めます。
- ② 環境学習
 - ・校舎敷地内の美化活動を通して、生命や自然の大切さを学びます。
 - ・校外学習を通し、地域の自然環境について学ぶ環境教育を推進します。
- ③ 地域と連携した環境保全活動
 - ・古紙の回収をPTAや地域の方と連携して実施します。
 - ・学校の取り組みを家庭と共有し、環境への意識を高めます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

①について、環境委員が中心となって、学校の現状から自分たちができるエコ活動について考え、全校生徒で実践することにより、地域・学校の一員としての所属感を高める。

(協力・主体性)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 至民中学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 資源の有限性について学習し、ものを大切にする心・エコロ ジー意識を養います。 ② 校内の花壇やプランターに植物を植え、緑化に努めます。 ③ 地域と連携し、清掃美化活動や保全活動に努めます。 2 取組内容 ○ 全体的な取り組み - すべての教室に、本校の環境 ISO の目標について掲示することで、生徒及び教職員に環境に関する取り組みについて周知・共有することができました。 ① エコロジー意識の育成 - 環境委員会を中心に、節電・節水、ごみの仕分けを呼びかけるための掲示物を作成・掲示し、エコロジー意識の向上を図りました。 - リサイクルボックスを各教室に設置したり、給食のごみ入れに不要になったプリントを再利用したりして、不要になったものを有効活用することを心がけています。 ② 校内の緑化 - 理科係会が中心となって、校内の緑化を目指してプランターに花の苗を植えました。 - 特別支援学級と科学情報部の生徒が中心となって、本校の特色をモチーフとした花壇を作成しました。 - 特別支援学級において、野菜を育てました。育てた野菜は調理して試食することで、食とのつながりを学びました。 ③ 地域との連携 5月、9月にPTAと連携した資源回収を実施しました。 1年生が、南江守生産組合の協力を得て、学校田で田植えから稲刈りに至るプロセスの体験を行いました。収穫したコメは、生徒に配布し家庭で試食することで、地域の自然環境と食とのつながりを学ぶことができました。 - 科学情報部の1年生が、学校田に植えた稲の生育状況を調査し、その調査結果を公民館に掲示させてもらいました。調査の過程で環境の重要性について考えることができました。 - 科学情報部と狐川流域まちづくり協議会が連携して、狐川流域の環境調査を実施しました。地区を流れる河川の環境を調査することで、環境について考える機会となりました。	



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

地域と連携した様々な活動を通して、地域の現状や未来について考え、持続可能な生活について考えることができました。（連携性）

3
處
し

【具体的効果】

- ・ 地域の伝統や自然などに目を向けるようになり、今まで以上に地域への愛着が生まれ、自然を大切にしようとする心が育ってきています。

【改善点】

- ・ 地域の方や保護者にも、学校での取組を広め、地域の環境に対する意識を高めていきたいです。
- ・ 生徒がより自主的に進めることができる活動を取り入れていきたいです。